

冷感刺激加工剤

パラクール CCS-1

(PARACOOL CCS-1)



パラクール CCS-1 は、今までにない発想と新しい技術から生まれた冷感刺激加工剤です。皮膚の冷感神経を直接活性化させ、ヒンヤリとした感覚を与えることができます。

同様の効果にメントールなどがありますが、強い刺激臭があるため繊維加工への利用は実質不可能でした。しかし、本製品では匂いを抑えることに成功したため、この効果を利用した刺激臭の殆どない神経活性化の加工を実現できました。



冷感のメカニズム

- ①人肌には TRPM8 と呼ばれる、「冷感センサー」が存在します。この冷感センサーが活性化することで、人は冷たさを感じます。
- ②冷感センサーは通常 **26°C以下で活性化**し、脳に冷たいという信号を送ります。
*夏の暑い日でも、加工剤の効果により、脳は 26°Cと同じように涼しいと感じる仕組みです。

特徴

1. 冷感性とその持続性に優れます。
2. ソフトな風合いです。
3. 洗濯耐久性に優れます。



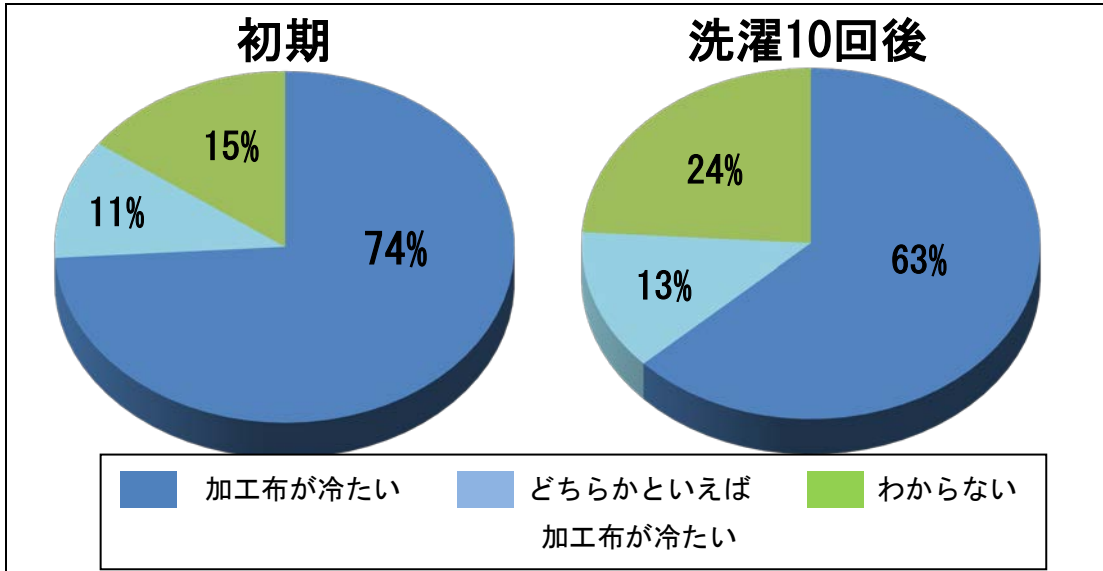
性状 及び 標準使用方法

外 観	: 白色エマルジョン
成 分	: 冷感成分/特殊シリコン
p H	: 4.5±1.0
粘 度	: 1000 (mPa·s)以下
イオン性	: ノニオン

適応素材	: 全素材
使用量	: 3~10%soln.
・標準処理条件	
パディング法	: 乾燥工程のみ
* 素材及び併用加工剤に応じて処理条件を設定して下さい。	

体感テスト

<結果> :初期 85%、洗濯後 76%の人が、加工布の方が冷たいと回答した。
アンケート結果(100人)



体感テスト方法

- 対象者 : 社外 100 名 (性別 : 男性 48 人・女性 52 人 年齢 : 5 歳 ~ 75 歳)
試験布 : Ny/Pu ニット
処方 : パラクール CCS-1 5%soln 加工条件 : パディング→乾燥 : 110°C
方法 : 両腕に冷感布、未加工布を同時に乗せ、30 秒後にどちらが冷たいか答えて貰う。生地は 25°C の恒温室に 10 分以上静置したものを使用する。

使用上の注意

1. 加工処方、処理される繊維により、相溶性や風合などが異なりますので、実際の使用に際しては、予めご確認下さい。
2. 薬剤の組み合わせや、熱処理温度によって、生地の黄変や特有の香りが出る場合がありますので、予めご確認下さい。
3. 通気性の良い 5~35°C の冷暗所で、容器を密閉して保管下さい。

ここに記載された資料内容は、細心の注意を払って行った社内試験に基づくものですが、御使用に際しましては十分に御試験の上、御使用下さい。また、取扱いに関しましてはSDSを御参照下さい。